

H21 改善計画書

施策番号	局名	課名	職名	氏名	電話（直通）
11310	健康福祉局	障害福祉課	課長	原 修	042-769-8355
施策名					
自立した生活を実現させるための環境づくり					
平成21年度評価					
1次評価	2次評価	3次評価	2次評価意見		
A	A	B	平成18年度改善計画書による改善が図られていない。早急に改善計画書に則った対応をすること。 課題に対する具体的解決策を示すこと。		
			3次評価意見		
			他市との比較による目標設定を検討すること。 （ヒアリング実施時に施策所管課から「新総合計画との整合に配慮し、指標の優先順位を指標2を1位とする」旨の申し出があったため、評価を変更した。これにより有効性1点、効率性4点、満足度2点、合計7点で評価がBとなった。）		
3次評価意見に対する所管課の見解及び対応（具体的に）					
「他市との比較による目標設定」については、各市における障害のある人等のニーズが異なる状況で単純に比較することは困難な状況であるため、まず、本市で提供している福祉サービスについて各政令指定都市の状況を調査し、本市の福祉サービスの提供水準について検証する。これに基づき相模原市障害者施策推進協議会において意見を伺い、平成22年度中に福祉サービス事業の有効性、必要性などを踏まえて活動目標のあり方について検討する。					
廃止・見直しを検討する事業					
事業名		事業の問題点と見直し等を行う内容			
現施策を引き継ぐ予定の新総合計画の施策における成果指標					
現施策を引き継ぐ予定の施策			障害者の自立支援と社会参加		
成果指標	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]	設定理由
一般就労をした障害者の数	人	44	98	109	障害者が地域でいきいきと暮らしていくために就労することが必要なことから、福祉施設等から一般就労した障害者が多くなることを指標とした。
日中活動系事業所の利用者数	人	1,351	3,049	3,302	障害者が自分の望む住まいで暮らし、地域で福祉資源を利用して自分らしく生活するために、地域での福祉資源の充実が必要であり、日中活動系事業所の利用者数の増加を充実の指標とした。
相談支援を受けている件数	件	11,600	14,100	16,300	専門的なケアプランの作成から、日常的な相談まで幅広く、また、気軽に受けられる状況であることを示すものとして、相談支援の件数の広がりをもって相談支援の充実の指標とした。
新総合計画での目標達成方法					
施策目的達成のための取り組みとしては、障害者が地域で生活していくために必要な地域での福祉資源の充実を図るとともに、ニーズに応じた利用等が図られるよう支援していくことが必要である。 この取り組みを進めるため、社会情勢の変化を注視し、対象者のニーズについては十分に把握して事務事業の実施に取り組んでいくこととする。					

